

## <研究の名称>

「医療費用負担の多剤薬剤使用や潜在的不適切薬剤使用への影響についての研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

### ◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2015年1月から2016年12月頃にかけて当院内科外来を3回以上通院されたことがある65歳以上の方が対象となります。診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報 はデータ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

### ◆研究(調査)の背景と目的

社会の高齢化に伴い多くの病気を持つ高齢者が増え、多くの薬を内服する高齢者が増えています。しかし残念なことに、実際にはその内服している薬の中には不適切な処方薬が意外と多いという報告があります。そういった場合は、薬の効果よりも害が勝る可能性があり危険です。そのため不適切薬剤を減らすための試みが世界的に行われてきています。そういった不適切薬剤使用のリスクの一つとして「医療費の安さ」が海外の研究では報告されています。しかし日本ではそういった検証がされていないため、今回医療費用全額控除が不適切薬剤使用にどう影響するかを今回検証します。

この期間に当院内科外来を通院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は、診療情報を使用致しませんので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありません。

### ◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 電話：028-622-5241